

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和7年2月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500166
法人名	医療法人 杏林会
事業所名	グループホーム あんずの家
所在地	鹿児島県いちき串木野市桜町39番地1 (電話) 0996-32-8111
自己評価作成日	令和7年1月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年2月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あんずの家は、いちき串木野市の市街地に位置し、日常の変化を身近に感じることでできる、地域密着型のグループホームです。現在の取り組みで力を入れていることは、地域や家族との関係を密にとることです。地域に関しては、ボランティア活動の受け入れを再開し、クリスマス会などの行事参加、庭の掃除、利用者とのふれあいを実施しています。家族に対しては、LINEなどを活用し、日常の報告や、活動風景を写真やメールでやり取りをすることで、関係を深くとれるようにしています。特に、遠方におられる方には、ビデオ通話機能を使い、面会をする機会を作っています。食事については、健康維持は食からと考えており、管理栄養士のアドバイスの元、毎日スタッフが、栄養と見た目にも考慮し、毎食手作りで提供しています。従業員に関しては、人数も確保できており、外国人学生、看護学生のアルバイトを受け入れており、今後、介護・看護を担う人材の教育・経験の場として充実しています。母体が医療法人であり、週一回の訪問看護と、月二回の訪問診療を行っています。状態異常があった時には、すぐに報告し対応をしてもらっています。

- ・当事業所は、市の中心地にあり、周辺には公園や医療機関・スーパーマーケット等があり、便利の良い場所にある。
- ・地域との交流を大切にして、行事等に出来る限り参加している。
- ・家族の支援も含め、感染対策をしながら面会や外出支援等に努力して、馴染みの関係を大切にしている。
- ・外国人就労者を雇用する計画が法人全体で計画しており、職員雇用に前向きに対応している。
- ・食事は調理専門の職員を配置することで、介護に携わる時間を確保し、職員休憩時間や利用者との関わりの時間を大切にしている。
- ・管理者は、日頃から職員の相談にも応じて、職員からの信頼も厚い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	あんずの家の基本理念、杏林会の基本理念を、スタッフ会議にて、振り返りと確認を定期的に行っている。施設内掲示も継続している。	法人の理念と事業所の理念を玄関や事務所に掲示し、パンフレットにも掲載している。月1回のスタッフ会議で振り返りを行い、個々に確認をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会への加入により、回覧板や広報誌を受け取っており、利用者へ情報を伝えている。近所の散歩、野菜の差し入れなど交流は続いている。	自治会へ加入し、回覧板や運営推進会議で自治会長より地域情報を得ている。踊りボランティアや小学生の訪問を受け入れている。近隣を散歩時の挨拶等の交流や野菜の差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポーター養成講座の参加、アップポイント事業の、ボランティア活動の受け入れを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進委員会を実施し、そこで得た情報を、スタッフ間で共有している。会を、施設内で行うことで、実際に現場を見ていただき、意見や指導をいただきながら、サービスの向上に努めている。	2ヶ月ごとに会議を開催している。利用者情報や活動状況・ヒヤリハット・事故等について報告をして、質問については説明をしている。感染症の予防対策や転ばん体操等の情報を得て、参考にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	必要に応じて相談や報告を行っており、その都度適切なアドバイスを受けながら、協力関係を築いている。運営推進会議でも、包括支援センターからスタッフが参加しており、情報の共有をしている。	市の職員が運営推進会議に参加しており、情報交換が出来る。電話等で相談もしている。グループホーム協議会の研修にズームで参加したり、認知症サポーター養成講座への協力をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ会議にて、年間研修計画に沿って、研修を実施している。スタッフ間で、身体拘束をしない意義を、しっかりと理解することができている。	グループホーム独自の委員会を3ヶ月ごとに開催し、研修は年2回実施している。言葉遣いについても研修を行い、不適切な言葉については、管理者は繰り返し注意をしている。日中の施錠はしていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ会議にて、年間研修計画に沿って、研修を実施している。自分たちの行為が、虐待につながっていないのかの確認は、研修で学んでおり、定期的に、振り返りはできている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	スタッフ会議にて、年間研修計画に沿って、研修を実施している。権利擁護の制度の理解は深まっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約内容を理解し、利用者家族の質問にもしっかりと答えることができている。わからないことがあった場合でも、その都度対応できている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からの要望を受けやすいように、メールなどを使用して、相談しやすくしている。各ユニットの玄関にご意見箱を設置している。</p>	<p>利用者からは食べたい献立やおやつが多く意見が聞かれている。家族からはメールで意見を聞いたり、面会時に話をしていく。アイパットでも家族へ動画や写真を送信して生活状況を報告している。玄関に意見箱を設置して、気軽に意見が言える状況を作っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見は、随時、管理者へ伝わる環境となっており、問題があるたびに、スタッフ間の話し合う機会を作り、解決できている。</p>	<p>毎月のスタッフ会議で意見を聞いたり、日常的に相談を聞いている。休憩は出来るようにしている。年2回の人事考課で話している。個人の面談にも応じている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の個々の努力は、年二回の人事考課にて、代表へ報告できている。それと同時に、各スタッフへ、個人面談を行い、個人の要望や今後の目標を聞き出し、アドバイスができている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画に沿って学ぶ機会を作っている。個別面談時に、キャリアアップなどの相談に応じ、アドバイスできている。施設外研修も、参加をすすめ能力アップにつながっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の勉強会の参加や、各事業所へ電話などでの相談をし、つながりを持つことができている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前にご本人や、ご家族と面談を行い、生活歴や要望、それぞれ思いなどを確認し安心した生活が送れるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が抱える不安にしっかりと耳を傾け、要望に応えられるよう、入所前から話し合いを持つ機会を作り、信頼関係を築けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>面談を通じてご本人、ご家族の思いを確認し、その思いを反映したプランを作成する。また、今後起こりうる変化に対しても、ケアの方向性を説明し、要介護度に応じた施設の説明も行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その人らしい暮らしが続けられるように、一人ひとりお互い支えあいながら、信頼関係を築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の面会は、基本玄関での面会を継続。9：00～18：00の間で、いつでも行っている。また、LINEを使用し、ビデオ通話や、写真を送ることで、家族との関係をいつでもとれるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>外出は、目的の場所以外はいかず、短時間の条件で許可している。面会は、家族以外でもできるようにしている。</p>	<p>家族・友人・知人・親戚等の面会を玄関で行っている。電話や手紙・はがき等の取次ぎもしている。家族の応援や職員による自宅訪問や外出支援ができています。2ヶ月ごとの理美容師の訪問がある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員は、個別に利用者の性格や、認知症の症状を考慮し、利用者同士の関係が崩れないように支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も、今後の相談にも応じ、施設の案内や、アドバイスをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人が希望することは、できる限り実現するよう努めている。無理難題の場合は、本人・家族に相談をし、納得のいく対応ができるようにしている。	利用者の方から話かけがあり、事務室や居室で話を聞いている。意思疎通の困難な場合は家族に聞いたり、表情や動き等から把握して、職員間で情報を共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の暮らしは、本人・家族・ケアマネなどから情報を得て、把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録や、ヒヤリハット報告などを、スタッフ間で共有し、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の気付きは、生活記録に記入し、申し送り等で職員間で共有し、その場で解決できない課題については、毎月のスタッフ会議にて情報を共有し、ご本人やご家族の意向などを反映した介護計画の作成に努めている。	本人や家族から意見を聞き、職員会議にて話し合い家族や本人の意向を検討し介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月ごとに、見直しは6ヶ月ごとに、必要時はその都度実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に日々の様子を記録し、月に一回ケアカンファレンスを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎月行っているスタッフ会議にてモニタリングを行い、その時のその方の状態にあった支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし力を又えしている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園、海、山など、季節や行事ごとに、散歩やドライブという形で、楽しんでもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制をとっており、定期の診察は訪問診療の際、行っているが、入居前のかかりつけ医のまま継続されている方も支援できている。必要に応じて、他科受診も対応している。	協力医療機関が主治医となっている。訪問看護の健康チェックが週1回ある。24時間医療連携体制ができている。他科受診は家族としているが必要時は職員が同行することもある。歯科・眼科の往診がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週一回、協力医療機関より訪問看護が行われている。入居者の状態報告を行い、適切なアドバイスをもらっている。また、訪問診療や、病院受診時に、主治医へ連携を図ってもらっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院された場合、入院医療機関の、MSWとの連携を図り、早期の退院に向け受け入れの体制を整えている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居契約時に重度化に伴う対応について、文書にて説明を行い、納得を得ている。また、入居中の状態報告を行うとともに、今後、重度化した場合でも安心して過ごせるように他事業所とも連携を取っている。	入所時に重度化について説明を行い同意書もらっている。重度化した時、主治医から家族へ説明を行い、今後の事について家族の意向を確認している。特別養護老人ホームや医療機関等について説明をしている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時対応マニュアルや、施設内研修にて、実践力をみにつけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を行い、災害時は、関連施設との連携を行いながら、自治会へも協力してもらおう、運営推進会議等で話し合いをしている。</p>	<p>年2回昼夜を想定して防災訓練を実施している。地域への協力をお願いしている。地域の連絡網に町内会長も入っている。備蓄は水・米・食料品・缶詰など3日分程度用意している。カセットコンロもある。事業継続計画（BCP）も作成済である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーや人格を損ねない言葉使いや対応に心掛けている。第三者から聞かれても、おかしくない言葉使いを常に意識することを、研修等で振り返っている。	プライバシーや人格を尊重した言葉遣いに注意している。排泄時のドアの開閉、声かけ、入浴時の更衣等、羞恥心に配慮している。同性介助にも対応している。申し送りは、事務室で名前を出さないで実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押しつけや無理強いをせず、ご本人が感情や希望の表出ができるようにその方の状態を見極めながら働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活リズムに合わせて自己決定できるような雰囲気づくりをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ビューティーヘルパーによる、散髪や、毎朝の整容、服は本人の好みを考え、提案したりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中は、心の休まるBGMを流し、個々の食事状況に合わせて提供する。手作りで、盛り付けも食欲が増すように工夫をしている。後片付けは、食べ終わった食器をまとめたり、テーブル拭き、食器拭きをお願いしている。	職員が献立を作成している。調理専門職員が複数いる。行事食も作成している。誕生日食は好みの物を聞いて提供している。片づけやテーブル拭き等を職員と一緒にやっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	つき1回の栄養指導を受け、栄養が偏らないようにアドバイスを受けている。水分摂取も随時行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアは実施しており、個々の残存機能に応じて、見守りや介助を行っている。口腔トラブル等があった場合は、歯科受診も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各入居者の排泄パターンを把握し、間隔が長いときは、声掛け誘導しトイレでの排泄ができるように支援している。	排泄チェック表により、排泄パターンを把握して、声掛けや誘導を行い、日中はトイレへ誘導しての排泄を実施している。夜間のみポータブル使用者、オムツ使用者がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や、水分摂取手等で、便秘にならないように努めている。便秘時には、トイレでの腹部マッサージ等を行い、改善されない場合は、医師に相談し、便秘薬を処方してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴を実施し、本人の希望に沿うように行っている。当日に気の進まない方や、当日に入りたい方等、本人の希望をうけいれ、実施に努めている。	週2回午前中に実施している。希望により同性介助に応じている。入浴拒否者は、職員の声掛けの工夫や時間の変更等で入浴できている。入浴剤を使用している。入浴後、皮膚の乾燥を防ぐため保湿剤を塗布している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は本人の状態に合わせて、自由に休息をとってもらっている。入眠前には、リラックスできるBGMを流して、安心して眠っていただける様に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルに処方箋を入れており、情報を共有することができる。病状の変化や薬の変更があった場合も、スタッフ間で共有し把握できている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物のたたみ、洗濯物干し、台拭き等、できることはしてもらっており、やりがいを感じられるように努めている。レクリエーションにて、体を動かしたり、演歌などを流して歌をうたったりと楽しんでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>施設周辺の散歩や、ドライブ、中庭のデッキでの日光浴を行っている。感染症対策として外泊はできていないが、短時間での、自宅への外出は許可をしている。</p>	<p>天気の良い日は、近くの公園へ散歩に出かけている。年間行事計画があり、初詣や花見ドライブに出かけることもある。テラスでおしゃべりしながらお茶を楽しむこと事もある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>施設にて、ご家族からお小遣いとして、お金を預かっており、本人が買いたいものがあれば、購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は本人の希望があれば、いつでも対応している。また、iPadにて、家族とカメラ通話で会話ができるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアは季節に応じた飾りを掲示し、季節感や雰囲気を感じてもらっている。共有スペースは、定期的に清掃、消毒を行い、常に清潔を保持している。</p>	<p>フロアには加湿器付き空気清浄機がある。エアコンで温度湿度調整をし、時間を見ながら換気をしている。ソファがある。壁には、節分やひな祭り等季節ごとの作品を飾り付け、季節を感じられるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースでは、マスクをしながらソファーと一緒に座り、体操等に参加していただいている。また、YouTubeを利用し、音楽を聴いたり、本などを読んでもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、TVなどの希望の物を設置したり、想いでの写真などを持ってきてもらい、本人が不安なく過ごしていただける様にしている。ADLの変化に伴い、安全面を考慮し、部屋の配置も定期的に検討されている。</p>	<p>ベッド・エアコン・押し入れ等の設置がある。寝具は使い慣れたものを持ち込んでいる。テレビ・3段ボックス・テーブル・家族写真・手作り作品・本等があり、不安なく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ソファーやテーブル等の配置は、車いすや歩行器使用の方に配慮し、動きやすいように配置換えを定期的に行っている。常に、生活導線は整理整頓に努め、安全に生活出来るようにしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない